

大阪府 泉佐野市

企業版



izumisano

ふるさと納税





## 市長よりご挨拶



本市は、「第2期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、企業の皆さまと連携しながら、社会課題の解決と地域の活性化に取り組んでいます。

昨年度は、本市の取り組みに共感いただいた70を超える企業の皆さまから、企業版ふるさと納税を通じて温かいご支援を賜りました。これにより、市だけでは実現困難だった様々な事業を実施し、社会課題の解決と地域の活性化につなげることができました。

ご支援を賜りました企業の皆さまに深く御礼申し上げます。

昨今、子どもの貧困や教育格差、環境問題など、様々な課題に直面しています。本市では、これら喫緊の課題に対して、地域住民、そして企業の皆さまとともに、実効性のある事業を展開し、より良い未来に向けて持続的な成長をめざしてまいります。

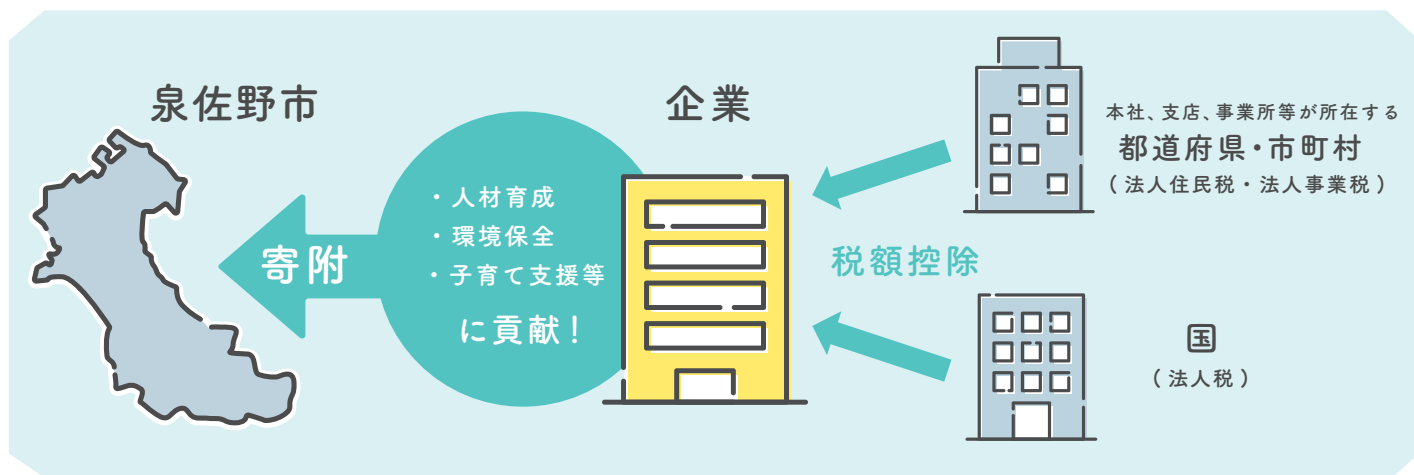
泉佐野市長 千代松 大耕

# 企業版ふるさと納税について



企業版ふるさと納税は、地方創生につながる地方公共団体の事業に対して企業が寄附をした場合、その **寄附額の「最大約9割」が税軽減** される仕組みです。これにより、**企業の実質負担は約1割まで圧縮**されます。

## ● 制度のイメージ



## 寄附要件

- ▶ 1回あたり10万円以上の寄附が対象となります。
- ▶ 本社が所在する地方公共団体への寄附は、本制度の対象外です。
- ▶ 寄附の見返りとして経済的な利益を受けることは法令で禁止されています。

### 例えば…

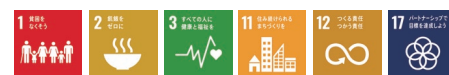
100万円寄附すると、  
最大90万円(9割)の法人関係税を軽減  
**企業様の実質負担は約10万円!**

## ● 企業版ふるさと納税のメリット

|                |                                  |                                                                                                                            |                                                                                       |
|----------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>メリット 01</b> | SDGs/ESG                         | 社会課題の解決や地方創生を推進する企業版ふるさと納税は、SDGs、ESG 活動の新しい手法として活用いただけます。                                                                  |  |
| <b>メリット 02</b> | 社会貢献企業としてのPR効果<br>(認知向上・イメージアップ) | 企業様のSDGs/ESG活動(企業版ふるさと納税)について、市公式HPやプレスリリース、感謝状贈呈式などを通じて広報し、企業様のイメージアップやブランド力向上、認知度向上を図ります。詳しくはパンフレット内の「ベネフィット一覧」をご参照ください。 |                                                                                       |
| <b>メリット 03</b> | パートナーシップ構築<br>(新事業展開)            | 企業版ふるさと納税を契機に、様々な分野で連携をさせていただき、地域資源を活かした新事業の展開を促進します。                                                                      |  |

## 全国初！こども食堂支援事業

### SDGs 目標

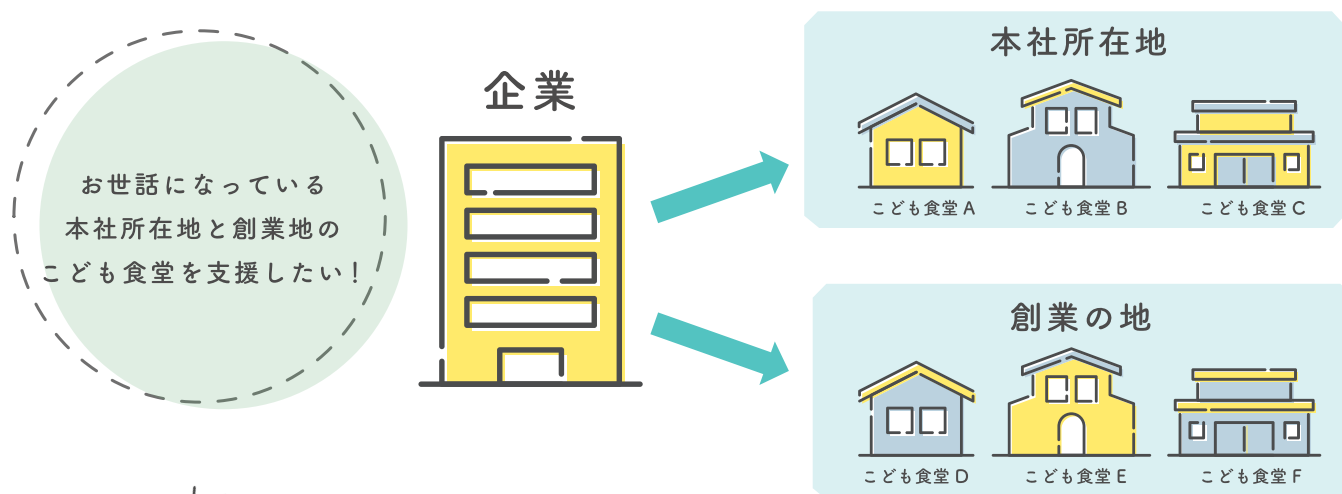


### プロジェクト背景

日本は経済大国でありながら、子どもの約 9 人にひとりが相対的貧困状態にあるといわれ、ひとり親世帯の貧困率は約 45% で、OECD 加盟国の中で最低水準です。このような状況下で、無料または低額で温かい食事を提供し、子どもが安心できる居場所となっている「こども食堂」の重要性は高まっています。また、多くのこども食堂は、年齢などの参加条件を付けずに運営されており、多世代交流の拠点として、孤食問題の解消や地域コミュニティ形成を促進する場所として重要な役割を果たしています。一方で、近年の物価高騰等により、こども食堂は運営費の確保といった課題に直面しています。この課題解決を見据え、泉佐野市では、企業版ふるさと納税を活用した全国のこども食堂支援に取り組んでいます。

### 事業内容

企業の皆さまからの寄附金を活用し、市が泉佐野産の食材を買い上げ、それを寄附企業様が指定する地域のこども食堂にお届けする事業です(こども食堂は全国 9,000 箇所以上)。本事業を通じて、こども食堂の持続的な運営を後押しします。



## POINT

支援するこども食堂は、泉佐野市内に限らず、寄附企業様の本社所在地や創業地など、支援したい地域を指定することができます。企業版ふるさと納税では、本社が所在する地方公共団体への寄附は制度対象外ですが、本事業を活用すれば、寄附先は泉佐野市でありながら、本社所在地への直接的な支援が可能です（全国初）。

※地域のご指定は 30 万円以上のご寄附に限らせていただいております。





## 木質バイオマス発電事業 ～持続可能な循環型社会をめざす～

### SDGs 目標

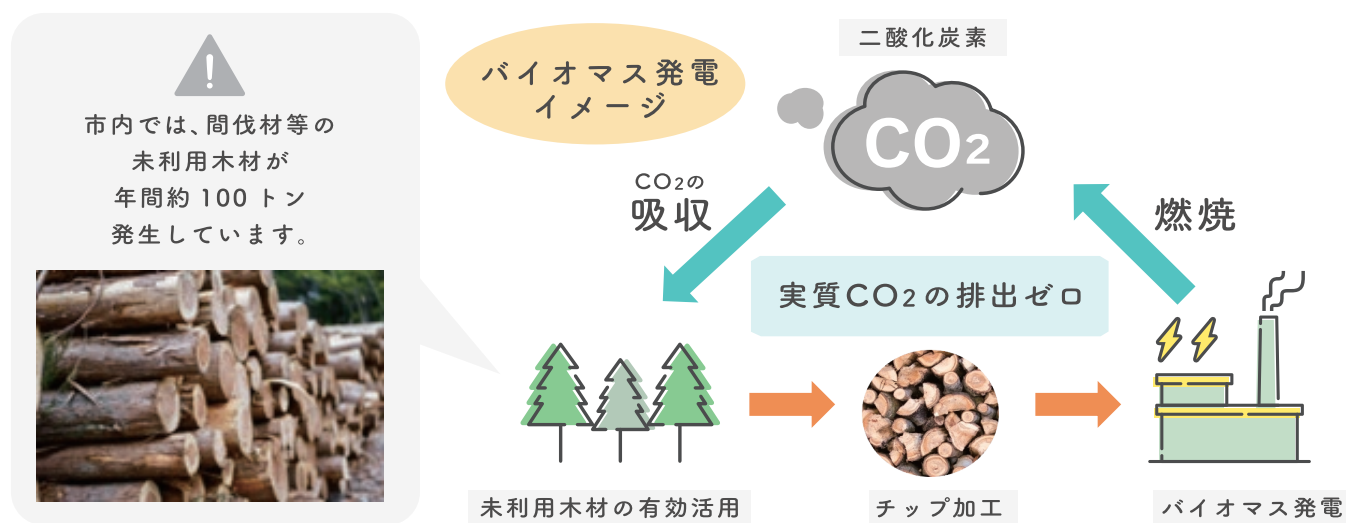


### プロジェクト背景

近年、国内各地で大規模な災害が多発していますが、温室効果ガスの増加に伴い、今後、気象災害の更なる頻発化・激甚化が予測されています。こうした事態を受けて、本市は 2050 年の温室効果ガスの実質排出量ゼロ（ゼロカーボンシティ）をめざすことを宣言しました。目標達成に向けて、間伐を行った未利用木材を有効活用した「木質バイオマス発電事業」に取り組みます。

### 事業内容

2025 年までに、「木質バイオマス発電所」を市内に開設します。市内の民有林から得られる間伐材（約 100 トン）を活用し、年間約 57,000kwh を発電します（約 20 トンの CO2 削減）。本事業を通じて、カーボンニュートラルと持続可能な循環型社会の実現をめざします。



## eスポーツ推進事業 ～eスポーツの発展と共生社会の実現をめざす～

### SDGs 目標



### プロジェクト背景

e スポーツは、性別や年齢、国籍、障がいの有無にかかわらず、誰もが楽しむことができる競技です。本市では、「e スポーツ先進都市・泉佐野」をテーマに、このような強みを持つ e スポーツを活用し、競技者同士のコミュニティ形成を促進するなど、「共生社会の実現」と「ダイバーシティの推進」をめざしています。

### 事業内容

- e スポーツの魅力発信や競技を通じた交流促進を目的に、様々なイベントを企画しています。昨年度は、高校生を対象にした合宿形式の e スポーツイベント「e スポーツキャンプ」や、e スポーツを通じた職業体験イベント「e スポーツゲームクリエイターアカデミー」などを開催しました。
- 誰もが無料で e スポーツを体験できる施設「e スタジアム泉佐野」を設置し、e スポーツの魅力を広める取り組みを行っています。



e スポーツキャンプの様子



e スポーツゲーム  
クリエイターアカデミーの様子



e スタジアム泉佐野

# フードバンク活動推進事業～食料支援とフードロス削減を推進～

## SDGs 目標

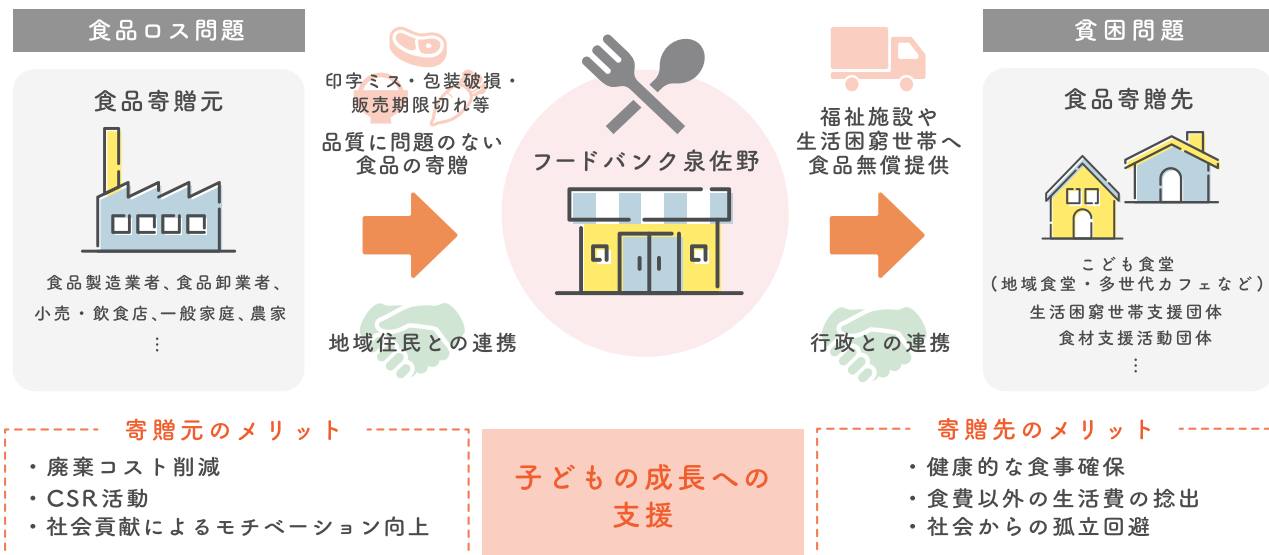


## プロジェクト背景

「フードバンク」とは、品質に問題はないものの、包装の破損や過剰在庫などの理由で、流通に出すことができない食品を企業などから寄贈していただき、食材を必要とする食材支援活動団体等に無償で提供する活動です。本市では、「食料支援」と「フードロス削減」を目的に、フードバンク活動推進事業に取り組んでいます。

## 事業内容

フードバンク事業の拠点として「フードバンク泉佐野」を開設し、食品支援者と食品支援を必要としている方々をつなぐ活動を推進しています。本事業を通じて、生活に困窮する方々の支援とフードロスの削減をめざします。



## KIX 泉州国際マラソンの開催



関西国際空港の開港(1994年)とともに始まったKIX泉州国際マラソンは、多くのランナーの皆さまに愛され、全国から注目を集める大会に成長してきました。しかし、運営費の確保など、開催における多くの課題も抱えています。この歴史と伝統のある大会を途切れさせることなく、次の世代につないでいけるよう、企業版ふるさと納税を活用して持続的な開催をめざしています。

## 外国人労働者受入環境整備事業



外国就労者の相談を受ける窓口を設置し、必要な支援をおこなうとともに、市内企業からの在留資格等の手続きや雇用・労務に関する相談に応えるなど、外国人材の適正かつ円滑な受入に向けた取り組みを支援しています。また、交流イベントである外国人食堂等の企画運営を通じて、外国人材のコミュニティ形成や多文化共生を推進しています。

## 災害時のトイレ環境整備事業



過去に発生した大規模な災害では、停電、断水により避難所の水洗トイレが使用できず、衛生面や健康面において大きな問題となりました。泉佐野市では、南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害の発生に備え、停電や断水時でも衛生的に利用できるマンホールトイレを学校施設等に導入し、災害時のトイレ環境の整備に取り組みます。

## 塾代等助成事業～教育格差の解消～



小中学生を対象に、学習塾や習い事にかかる費用を助成します。本事業を通じて、子どもたちの学習意欲、個性や才能を伸ばすとともに、子育て世帯の経済的な負担軽減と教育格差の解消に取り組みます。

上記の他にも、様々な事業を実施しています。  
詳しくは、市ホームページをご覧ください。  
「泉佐野市 企業版ふるさと納税」で検索





## ● ベネフィット一覧

泉佐野市では、企業様の社会貢献活動（企業版ふるさと納税）について、積極的に広報しています。寄附企業様のイメージアップやブランド力の強化、認知度向上につなげていただけますと幸いです。

1

**10** 万円～の寄附

- 市ホームページにて寄附企業様をご紹介
- 感謝状の贈呈

2

**100** 万円～の寄附

- 報道機関にプレスリリースを配信
- その他 10 万円～の寄附と同様のベネフィット

3

**300** 万円～の寄附

- 感謝状贈呈式を開催（市長より感謝状を贈呈）
- 市長との意見交換
- その他 100 万円～の寄附と同様のベネフィット

4

**1000** 万円～の寄附

- 紺綬褒章（国の褒章制度）に推薦
- 泉佐野市ふるさと功労者表彰に推薦
- その他 300 万円～の寄附と同様のベネフィット

### ！ ご注意

- ▶ 上記の他、個別のベネフィットを設けている事業もございます。
- ▶ ベネフィット内容は変更になる可能性がございます。

## 企業版ふるさと納税（物納）

- ▶ 企業版ふるさと納税では、物品の寄附もお受けしています。現金寄附と同様に、税軽減の対象になります。  
（例：販売価格 100 万円の防災用品を寄附いただいた場合、最大 90 万円の法人関係税が軽減されます）
- ▶ 物納寄附をいただく際には、市の地域再生計画に関連する物品であるなどの諸条件がありますため、担当部署までお気軽にお問い合わせください。

## 企業版ふるさと納税（人材派遣型）

企業版ふるさと納税（人材派遣型）とは、企業が専門的な知識やノウハウを持つ人材を地方公共団体等へ派遣することを通じて、地方創生を推進する制度です。企業は派遣した人材の人件費相当額を含む事業費への寄附により、当該経費の最大約 9 割に相当する税の軽減を受けることができます。企業にとっては、企業のノウハウの活用による地域貢献がしやすくなるとともに、人材育成の機会として活用することができます。



## ● 寄附の流れ

### ご相談・お申出

#### 企業様

企業様のご意向に沿って、寄附対象事業を決定します。  
まずは、下記までお気軽にお問い合わせくださいませ。  
その上で、寄附申出書の提出をお願いいたします。

### 寄附

#### 市

入金先をご案内いたします。

#### 企業様

銀行振込 / クレジット決済にて寄附金の払い込みをお願いいたします。

### 税申告の手続き

#### 市

寄附金受領証を発行いたします。

#### 企業様

寄附金受領証を使用し、税務署での税申告の手続きをお願いいたします。

お問い合わせ先



世界に羽ばたく国際都市

**泉佐野市**

泉佐野市 成長戦略室おもてなし課

TEL : 072-447-8126

E-mail : [omotenashi@city.izumisano.lg.jp](mailto:omotenashi@city.izumisano.lg.jp)

